

「恐れ入ります」と言つ言葉が、待ちくたびれてうとうととしている時、耳元で聞こえてきた。膝痛で通っている整形外科の待合室での事だ。今はあまり使われなくなった言葉に懐かしさのようなものを感じ思わず声の主を見ると、ごく普通の同年代位の女性だった。コロナで緊急事態宣言の出ている中、評判が良いこの病院はいつも混んでいて、席の間隔は開けてあるが近くだとよく聞こえる。

初めて来たらしいこの女性に、受付の人は座っている彼女の傍まできて何やら色々説明をしていた。詳しい内容はわからないが、話の合間に女性は何度も「恐れ入ります」と言っていた。暫くすると、私より先に彼女は看護師に呼び出され、指定された番号の部屋に入ってしまった。その時もその言葉が二度程聞こえてきた。

忘れかけていたこの言葉は、最初丁寧すぎるように感じたがごく自然に彼女が言っているのを聞いて、日本人らしい表現でいい言葉だなと思った。「恐れ入ります」を調べると迷惑をかけて申し訳なく思う、相手の厚意に対して恐縮する、お願いやお礼の時に使うとある。

四十代後半で某会社の営業を長年している息子にこの話をすると、仕事の時には「恐れ入りますが」「恐縮です」「申し訳ございません」等よく使っていると言う。そんな中で英語的な「了解しました」と日本的な「承知しました」とでは、相手の立場への配慮がある後者の表現が信頼されるのでよく使うと言っていた。ビジネスの世界ではまだ生きているようだ。日常生活の中では手紙等でそういう言葉も使われているが、これもメールの時代になると遠ざかってきている。あの日は改めて日本人らしい日本語を聞いたような気がした。

彼女の呼ばれた後私も呼ばれ、看護師さんに同じ言葉でと思ったが、何か気恥ずかしく「有難うございます」としか言えなかった。

幸いにも膝痛は軽くなり通院は終わった。

いつの日かごく自然にその言葉が出るようになりたいものだ。